



キャノングローバル戦略研究所(CIGS)
エフゲニー・サタノフスキー氏セミナー
「中近東地域の難問」
【質疑応答要旨】

日時：2016年10月18日

場所：東京ステーションコンファレンス 501AB

小手川大助：サタノフスキーさん、興味深いプレゼンテーションを有難うございました。これから質疑応答に移ります。

質問者 1：USAID（米国国際開発庁）の元プロジェクト担当官だった Josh Cohen 氏が書いたジャパンタイムズの記事を数日前に読みました。彼の主張は、アフリカおよびシリアのイスラム国を破るための一番良い方法は、スンニ派に自分の国を持たせ、イスラム国と対立させると共に他のテロ集団の出現を防ぐためのインセンティブにするというものでした。この問題について、ご意見ををお願いします。

エフゲニー・サタノフスキー：ラッカとイラクのスンニ派地域を足してシリア砂漠東部をスンニ派国の一部にすることは可能です。しかしながら、問題は、過激な狂信主義、テロリズムや奴隷貿易といった慣習が続くかどうかです。1922年までオスマン帝国では奴隷貿易が行われ、サウジアラビアでは1960年代初頭まで当たり前でした。ファイサル国王が奴隷貿易を廃止した時、サウジアラビアの指導者は全員40歳代でした。問題は、何が中東のスンニ派国になる可能性があるのかということです。そのような国は、サダム・フセイン統治下のように、世俗的になる可能性はきわめて低いです。また、そのような国が急進化し隣国に脅威をもたらして、一層の対立を生むかどうか裏付けることもできません。民族や宗教的なつながりの近さを元に中東の地図を作り直すことはできますが、いくつかの問題を引き起こします。

質問者 2：シリアについてプーチン大統領の最終決断は何でしょうか。また、いつ彼はロシア軍にシリアから撤退を命令することができるでしょうか。

サタノフスキー：興味深い質問です。最終決断が下されるかどうか分かりません。最近、ロシア国家院は、今後の計画が分かっているので、シリアのロシアの基地について可決しました。したがって、プーチン政権以降もロシア軍は当面の間シリアに駐留するでしょう。ロシアの関心は、地中海東部で長期的プレゼンスを示せるかどうかです。シリア紛争は多くの問題を含む予測不能な戦争です。具体的な計画表にまとめることはできません。

質問者 3：シリアに中国が関与した意味についてお伺いします。また、イランとロシアの協力についてどのように説明しますか？

サタノフスキー：ロシアは、イランに対してさまざまな賛成や反対の見解を持っています。イランは特に宗教面で野心的であり、それが問題を起こすことがあります。シリアに関する限り、シリアがイランの宗教面を妨害するようなことをロシアは求めていません。シリアは多国籍、多宗教の国のままでなければなりません。シリアについて、中国はロシアと同様の目標を持っています。中国は、宗教面ではなく安全保障面での影響力を求めていきます。特に、シリアのウイグル人の扱いに対処することに関心を持ってきました。

小手川：ISIS が具体的にどこから近代兵器を入手したかについて、意見をお聞かせください。一説には、兵器はカダフィが保管していたもので、後に未確認の組織によって奪われたと言われていています。実際に誰がトルコを通じてシリアに兵器を渡したのでしょうか？

サタノフスキー：カダフィ政権が崩壊したとき、約25トンの化学兵器と化学兵器用の材料がありました。その半数は破壊されましたが、残りがどこに行ったのか分かりません。サダム・フセイン失脚後のイラクと同じです。シリアの化学兵器の大部分は、おそらくリビアではなくイラクから来たものでしょう。モスル大学には原始的なタイプの化学兵器を作る研究所があります。化学兵器は現在、開発初期の段階にあります。イスラム教徒は、軍備品を売買したり、ヨーロッパ全域を渡り歩いたり、やりたいことは何でもやります。

質問者 4：日本とロシアが、シリアだけではなく中央アジア、特にタジキスタンで協力する

ための一番良い方法は何でしょうか？

サタノフスキー：タジキスタンのテロリストに対して、日本と一緒に実現できるような取組みは、もうないと思います。タジキスタンの問題は中国とイランに広がる可能性が高いので、これらの国々との協力を進める方が有益そうです。

タジキスタンで最大の麻薬売人は大統領であることが、アフガニスタンと同様、対応を難しくしています。ロシアは、米国またはアフガニスタンの指導者が組織した国際チームと一緒に特殊作戦を何回か実施しました。作戦は成功しましたが、当局者の多くは腐敗しており麻薬生産を続けました。アフガニスタン領の遊牧民の多くがタジキスタン人であり、タジキスタンの国民は同じ状況になることを恐れています。この地域は麻薬王、麻薬の売人および使用者によって支配されているのです。

質問者 5：最も詳しく話してくださった話題のうち一番興味深かったのは、エリトリアとUAEについてです。現在、アラブ湾岸諸国はペルシャ湾ではなく紅海にますます軸足を移しています。私は、紅海周辺の地域は名が知られつつあると思います。中東に新たに出現しているこのようなサブリージョンはありますか？

サタノフスキー：そのような新たな準地域は、多くの問題を引き起こしています。軍事衝突、海賊行為による深刻な腐敗や経済危機に苦しんでいます。この地域のもう一つの問題は、燃料へのアクセスです。主なエネルギー源の一つは水で、具体的にはナイル川です。ナイル川の水に関して、6カ国が新たな合意に署名しました。資源を巡る競争が拡大する可能性があり、地政学的問題はさらなる課題を提示することになります。

小手川：制裁対象となっているロシア人の名前を記載した米国リストを見た際、一人の人物の名前が大変奇妙に思えました。彼は、反麻薬活動を行う国連の事務所のトップでした。米国の制裁リストになぜその人物の名前が入っているのか理由をお聞きしたいと思います。

サタノフスキー：実を言うと、制裁名簿が存在する理由は世界最大の秘密です。理論的には、中央アジアでの石油やガスの貿易といった中国とロシアの協力関係だけではなく、中国が超大国となるのを阻止するための唯一の方法だと考えられます。こうした要因でロシアは制裁受け、そのためにウクライナでは政権が交代しました。

このような制裁が今後どうなるかは分かりませんが、米国大統領選の結果次第でしょう。ヒラリー・クリントンに関しては、25年以上の付き合いがあり、実に良識ある人物だと分かっています。しかしながら、ドナルド・トランプはまったく予測不能です。彼がどのような人物か分かりません。バーニー・サンダースは、半共産主義者、半社会主義者です。したがって、米国の将来はきわめて不確実です。

以上